



中央通り
木市の様子



夏祭りパレードの様子



商店街のにぎわいの様子 今と昔



伊佐市議会だより 51

令和3年8月

👉 6月定例会「議案への質疑」・・・ P 4 ～ 5

👉 討論・・・ P10

👉 議員14人の一般質問・・・ P12 ～ 19

6月定例会

「審議された議案の内容は」

第43号 令和3年度
一般会計予算の補正
(第4号)

予算額を1億2435万9000円増額し、予算総額を16億5621万円に。

災害救助費で購入する備品



簡易トイレ4式購入



多目的簡易ベッド10個購入



災害対策用テント4個購入



災害用簡易テント(2人用)を
100個購入

第45号 伊佐市十曾青少年
旅行村の設置及び管理に
関する条例の一部改正

管理棟の新設に伴い、料金を
改定しました。



電動アシスト自転車を導入



バンガローを改修

第47号 財産の取得

第7分団の消防ポンプ車の更
新(写真は昨年度更新した第13
分団の車両)



被害を受けられたみなさまには、 謹んでお見舞い申し上げます。

7月10日豪雨災害により各地へ甚大な被害が

1時間当たりの雨量が80mm～90mm、多いところでは総雨量648mmを記録



道路陥没



山の崩落



法面崩落



河川の氾濫による土砂流入



用水路氾濫による法面崩落



河川の氾濫による道路崩壊

永尾自治会では30戸が床上浸水被害に

自治会自主防災組織を中心に被災家屋のかたづけ終了後、災害ボランティア参加者でシェフの富重さん(伊佐市菱刈出身)より地元産品を活用したカレーが被災者へ振舞われました。



商工会青年部災害ボランティア活動

社会福祉協議会でボランティア登録をして災害ごみの撤去作業を手伝いました。



議案への質疑

6月16日本会議5日目



畑中 香子 議員

議案第43号 令和3年度伊佐市一般会計補正予算(第4号)

畑中 自動検温器、空間除菌脱臭機の配置場所、台数は。

財政課長 自動検温器は両庁舎やふれあいセンター、まごし館や文化会館など37施設43台。

空間除菌脱臭機はまごし温泉、高熊荘、元気こころ館、菱刈総合保健福祉センターの4施設のロビー・ホール・脱衣所に8台設置。

畑中 次亜塩素酸のコロナに対する効果と、空間除菌機に対して消費者庁から注意喚起がなかったのか。当該機器の導入に至る経緯は。

長寿介護課長 当初、濃度の濃い次亜塩素酸を噴霧するものについては人体への影響が危惧されていたが、今回導入する機器については安全性が立証されており導入実績・効果が高いことで計上した。

畑中 成人式参加者へのPCR検査助成内容は。

社会教育課長 PCR検査費用と1万円を比較していずれか低いほうの額を助成する。

畑中 大都市で行っている格安の検査や検査キット購入によるものも対象か。すでに行っている市民へのPCR検査費用助成事業でカバーできないのか。

社会教育課長 すでに実施している助成は伊佐市の住民もしくはその被扶養者であり、市内の医療機関で検査を受ける場合が対象である。今回は市外の住民、市外の検査機関での検査(格安検査・検査キット購入)も対象になる。

議案第44号 伊佐市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について

畑中 行政手続きにおける押印見直しで条例改正が必要なものの件数は。

財政課長 該当するものはあと1、2件である。



星野 元興 議員

議案第48号 財産の減額及び無償貸付けについて

星野 (株)伊佐牧場への土地貸付料年間21万円の算出根拠を示せ。

市長 土地については減額貸付。建物は、無償で(株)伊佐牧場へ貸し付ける。土地貸付料の積算根拠は、土地評価額1069万726円に伊佐市公有財産管理規則第32条の普通財産貸付料4%を乗じると42万7629円となる。その42万7629円を半額減額することで21万円とした。

星野 複数年の契約、もしくは(株)伊佐牧場が希望した場合、優先的に貸付契約を結ぶなどのオプション契約などはあるのか。

伊佐PR課長 今回の契約内容は、令和3年10月1日から令和5年3月31日までとする。また、令和5年度からは、伊佐市、(株)伊佐牧場のいずれからも特別の意思表示がない場合には、1年間継続するものとする。



庵下 信一 議員

議案第43号 令和3年度伊佐市一般会計補正予算(第4号)

庵下 金山ネギ面積拡大事業104万8000円の内容と対象戸数・面積は。

市長 金山ネギ振興会に加入し新規にネギを栽培する場合に補助を行う。新規栽培者4人分の育苗に関する経費及び苗の購入費とネギの皮剥き機一式の購入費に対し、3分の1の額を計上している。作付面積は71aとなっている。

庵下 土木費委託料の5200万円と工事請負費1300万円の減額についての内容並びに対象工事橋の優先基準は。

建設課長 委託料5200万円は、51橋分の橋梁定期点検委託料及び6橋分の補修工事のための設計業務委託料の追加分である。令和3年度は177橋の橋梁定期点検と6橋の詳細設計を行う。

次に工事請負費1300万円の減額は、令和3年度工事予定の3橋（菅牟田橋・継岩橋・楠原3号橋）が、令和2年度補助対象工事として前倒し工事となったための減額である。橋梁の補修優先基準は、国交省の基準で4段階に決められている。判定1「健全」判定2「予防保全段階」判定3「早期措置段階」判定4「緊急措置段階」の基準に基づき優先順位を決定している。

諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について

庵下 上園信行氏は、固定資産評価審査委員会委員にも就任されているが、複数の委員に就任することに問題はないか。また、他に複数就任されている例はあるのか。

市民課長 法令上、固定資産評価審査委員会委員と職を兼ねることは問題ない。人権擁護委員6人のうち3人の方が民生委員や児童委員を兼任されている。



議案への質疑

6月29日本会議6日目



福本 千枝子 議員

議案第50号 令和3年度伊佐市一般会計補正予算(第5号)

福本 建設工事紛争審査会代理人委託費143万円の内容は。

市長 伊佐市が道路災害復旧工事の請負契約を解除した建設業者により、鹿児島県建設工事紛争審査会へ建設業法による仲裁の申請がなされた。その代理弁護人の委託料として、市の顧問弁護士と業務委託契約を結ぶための予算計上である。

総務課長 審査会とは建設工事の請負契約をめぐるトラブルの解決を図る準司法機関で中央国土交通省と各都道府県に置かれ、紛争の解決を図っていくものである。

議案第50号 令和3年度伊佐市一般会計補正予算(第5号)



岩元 努 議員

岩元 (款)7商工費(項)1商工費(目)2商工振興費(節)18負担金補助及び交付金1億700万円の詳細内容

と、前回の食事券・商品券の事業実績及び、商工会限定とした理由と2000円とした積算根拠を示せ。

企画政策課長 コロナ収束を見据えた緊急経済対策として、事業継続が厳しい状況にある飲食店を中心に、地元商店街の景気対策、地域経済の活性化を図るため、伊佐プレミアム付商品券を販売予定である。商品券・食事券の事業費が1億円、商工会の事務費700万円である。500円券28枚つづりが1セット、購入限度額は5セットになる。

前回の事業実績は、食事券が2万5000セット販売計画に対して3706セット購入で事業費1億7500万円に対し14・8%の執行率。商品券は2万2500セット販売に対し2万2456セット購入で、

事業費3億1500万円に対し99・6%の執行率であった。そのうち大型店舗へ、総換金額の約67・2%、それ以外の店舗で32・8%、とかなり大型店舗へ流れているので商工会と協力しながら工夫していく。

商工会員とした理由については、地域経済を活性化するための協力団体であり、支援によって商工業を盛り上げることが期待できる。積算根拠については、前回飲食店で使用された金額が7%で今回の券面額1万4000円で換算すると約1000円の計算になる。その倍を利用していただくように2000円とした。

伊佐市商工会



菱刈支所



大口本所

本会議で報告されたもの

報告3号

専決処分の報告

環境政策課敷地内における除草作業中の刈払機による石の飛散を原因とした自動車の窓ガラス破損事故。

報告4号

専決処分の報告

報告3号に係る損害賠償に要する経費の措置。

報告5号

令和2年度 一般会計予算 継続費繰越計算書

地方自治法施行令による報告

報告6号

令和2年度 一般会計予算 繰越明許費繰越計算書

地方自治法施行令による報告

繰り越す予算総額は25億9628万2000円。

・新型コロナウイルス感染症対応策関連

光ファイバ回線整備事業ほか21事業

・令和2年7月豪雨災害関連

強い農業・担い手づくり総合支援交付金事業ほか7事業

・それ以外の繰越事業

菱刈庁舎管理事業ほか20事業

報告7号

令和2年度 農業集落排水 事業特別会計予算繰越明許費 繰越計算書

地方自治法施行令による報告

報告8号

第3セクター菱刈泉熱開発 有限会社の経営状況について

地方自治法による報告

菱刈泉熱開発有限会社の令和2年度の事業内容について。

給湯先は、前年度と変わらず16件、給湯量も前年度と変わらず毎分735ℓである。

業績は、売上高197万2800円、売上原価・一般管理費191万

4231円、受取利息や法人税等を加減した当期純損失は1万2339

円で、繰越利益剰余金74万7492

円を合わせた当期未処分利益73万5153円である。



菱刈泉熱開発有限会社

政務活動報告

目的

バイオマス発電に関する現地視察

調査した議員

柿木原榮一

調査内容

- ①霧島木質発電(株)・霧島木質燃料(株)の事業概要と事業内容の調査(4月16日)
- ②さつまバイオマス発電合同会社の事業概要と事業内容の調査(4月23日)



一般会計予算決算
委員会審査報告



岩元 努 委員長

一般会計予算決算委員
議長を除く全議員

第43号 令和3年度
一般会計補正予算
(第4号)

委員会での採決

「可決すべきもの」

委員 企画調整費、540万円の建物等損傷事前調査業務委託費の内容は。

財政課

新庁舎建設に伴う建築、解体する際の振動等に伴う損傷の事前調査の業務委託である。想定される建物の外壁から40m程度を範囲として想定し、専門の補償会社をお願いする。

委員 企画調整費、450万円の一般コミュニティ助成事業の交付対象となった経緯は。

企画政策課

各コミュニティへ案内を送付し、応募内容を協議している。コミュニティ活動に必要な活動の目的・対象・内容・効果など申請書類の記載内容を精査した結果、今回、永尾公民会、平出水コミュニティを交付対象とした。

委員

子育て援助費、550万円の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業の算定基礎は。

こども課

基準額が次のとおり決まっている。

支援内容	利用定員	補助金基準額
放課後 児童クラブ	19人以下	上限 30万円
	21人～59人以下	40万円
	60人以上	50万円
子育て 支援センター	一か所当たり	30万円
乳幼児 全戸訪問事業	1市町村当たり	30万円
養育支援 訪問事業	1市町村当たり	30万円

委員 災害救助費、444万8000円の内容は。

福祉課

災害避難の充実を図るために、各避難所と、臨時開設する避難所等へ、簡易テント・敷きマット・簡易ベッド・簡易トイレ等の購入費用である。

委員

農業振興費、30万円の国庫支出金精算返納金の内容は。

農政課

農業者が農地バンクに10年以上の期間農地を貸し付けた際に、県から交付された経営転換協力金に関し、個人の事情により貸し付けを途中で中断したため、その返納金である。

委員

文書広報費1870万円の委託料の内容は。

伊佐PR課

動画作成費、紙ベースのパンフレット印刷費、電子書籍の制作費等である。ふるさと

と納税の取り扱いが繁忙期になる11月、12月までには間に合わせたい。

委員

1870万円の財源と効果の見込みは。

伊佐PR課

地方創生臨時交付金、コロナ対策・経済対策として観光プロモーション事業の国庫支出金である。PR課の統計と実施市町村を参考に、入込客数が2.2%増、宿泊費・観光事業の経済効果を、年間1億3400万円の効果が見込めると積算している。

委員

消防費154万円の委託料の内容は。

総務課

県道421号線(布計・山野線)の道路改良に伴い、第5分団山野自動車班詰所の移転に係る新設予定地測量登記及び設計業務委託である。

委員 公有財産購入費348万円の内容と計画内容は。

総務課

第5分団と防火水槽の新設予定地とした約600㎡の土地購入費用である。県道改良による買収面積で積算した額、348万円である。計画時期については、令和4年と令和5年を予定しているが、県道の改良工事に従い進めていく。



県道421号線と第5分団
山野自動車班詰所

委員 教育振興費32万円の需要費の内容は。

学校教育課

令和3年3月22日の大雨による、湯之尾小学校パソコン室の雨漏りによる、パソコン等機器の修繕費である。原因として、雨どいが詰まり換気口より雨水が侵入して、パソコン室・特別支援教室・教室が雨漏りをした。

委員

社会教育総務費23万2000円の委員・非常勤職員報酬の内容は。

社会教育課

大口ふれあいセンター大規模改修に係る検討審議会の開催が増えるため増額補正である。(4450円×13人×4回分)

委員

体育施設費474万3000円の工事請負費の内容は。

文化スポーツ課 西太良

コミュニティ広場の外トイレの老朽化に伴う、新型コロナウイルス感染症対応策としてトイレの改築費用である。手洗い場・簡易水洗型の小便可器・洋式トイレを計画している。



西太良コミュニティ広場の外トイレ

委員 事務局費54

8万円の備品購入費の内容は。

教委総務課 新型コロ

ナ感染症拡大防止対策として、学校・社会教育施設・文化スポーツ施設に自動検温器43台の購入費である。

委員 教育振興費17

万6000円の費用弁償の内容は。

学校教育課 理科支援

員1人分の鹿児島市からの通勤手当である。

【討論】

反対 (款)2総務費(項)1

総務管理費(目)8企画調整費(節)12委託料 新庁舎建設に伴う建物等損傷事前調査業務委託に係る費用540万円の計上に対して反対である。

新庁舎建設に係る費用が全く不明であり、未確定である。規模も費用も全く数字が示されず、540万円が妥当な金額か検討できない。議会は、各費用について責任を持たないといけない。

賛成 教育委員会を

含む公共施設への新型コロナウイルス感染症対応策関連経費、山野地区、十曾に係る商工費、消防費の消防詰所移転を含む次の段階に進むべき補正予算が組まれている。また、反対討論にあった新庁舎建設に向けた基本設計に伴う、建物等損傷事前調査業務委託については以前、損傷やトラブルの経緯があった。その経験を踏まえた事前調査であり、十分理解出来るものである。

総務産業委員会
審査報告



今村 謙作 委員長

総務産業委員

- 柿木原榮一 庵下信一
- 岩元 努 森田幸一
- 竹原研二 村岡強志
- 久保教仁 今村謙作

第45号 十曾青少年旅行村の設置及び管理に関する条例の一部を改正

委員会での採決、

「可決すべきもの」

委員 電動アシスト

自転車の利用時間を1回当たり2時間以内500円、延長1時間につき200円とした理由は。

伊佐PR課 十曾キャ

ンプ場のチェックイン時間が15時からであり、受付を済まされてから夕方



夢さくら館

第48号 財産の減額及び無償貸付け

委員会での採決、

「可決すべきもの」

までの間が2時間ほど確保できる。また、他自治体の例も参考にして、利用者の視点に立ったときに、1回当たり2時間が妥当であると判断した。繁忙期には多くの利用が見込まれるため、今回はこの利用時間と料金で設定した。今後、利用に際して検証していきながら問題を出てくれば見直しを検討していく。

第49号
市道路線の認定

委員会での採決、
「可決すべきもの」



舟津田7号線の現地調査



陳情第1号 市道曾木の滝土瀬戸線の継続着工と早期竣工及び広域農道(黄金ロード)取付け付近の安全対策について

委員会の選択、
「一部採択一部不採択」

※詳しい結果は9ページをご覧ください。

陳情の結果

一部採択 一部不採択

件名	提出者	付託先
陳情 1 市道曾木の滝土瀬戸線の継続着工と早期竣工及び広域農道（黄金ロード）取付け付近の安全対策について	深川自治会長 岡崎 幸次 行政書士 大野 亨美	総務産業委員会

1. 市道整備の優先順位を上げた今後の完成までの進捗管理について

- 深川自治会に工事内容を説明し、早急に発注すべきであり、地元の説明会の開催も行うべきであるとし、

採択

2. 令和3年度の早期着工による広域農道への取付け工事（中止された工事の速やかなる着工）について

- 交差点の施工については公安委員会との協議などが必要であり時間を要するが、早急な対応が図られるとの観点から、

採択

3. コロナ関係で令和2年度の工事未着工は理解できるが、代償施設である市道整備をせず他の個所は工事していることへの整合性を問う

- 当該路線改良工事は「過疎債整備路線工事」で行なっている。令和2年度当初は当該路線を含む8路線を「過疎債整備路線工事」で計画していたが、過疎債の大幅な減額があり、未契約だった当該路線を含む他の路線を減額したとの建設課長の回答により、

不採択

4. 広域農道（黄金ロード）取付け付近の安全対策を令和2年度中に完成すること

- 「スピード落とせ」の路面標示及び視線誘導柱の設置など工事は完了していると判断し、

不採択

5. 市道整備の竣工は、伊佐市衛生センターの竣工と同日であると確認したにも関わらず未だ完成していない。これまでの遅れに対する今後の対応の改善について

- 早期着工に向けて毎年の予算確保に努め、毎年工事発注を出来るだけ早い時期に行ない早期完成を図るべきであるとの観点から、

採択

意見書の結果

可決

意見書 1 伊佐市議会から国への意見書提出を可決

【タイトル】 「地方財政の充実・強化に関する意見書」

【提出先】 内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、内閣府特命担当大臣（地方創生規制改革）、内閣府特命担当大臣（経済財政政策）、新型コロナウイルス感染症対策担当大臣

【趣旨】 令和4年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、コロナ禍による新たな行政需要なども把握しながら、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立をめざす必要がある。

討論

賛成！ 反対！

私はこう思う！！

議案第43号 令和3年度
一般会計補正予算（第4号）

議案第43号 令和3年度
一般会計補正予算（第4号）
修正案

提出者 遠矢 寿子 議員

新庁舎建設に関連する建物等損傷
事前調査委託費540万円を削除す
る修正動議を提出する。

感染症拡大により基本設計が遅
れ、市民説明会は延期。市民に配布
されたチラシは大まかな見取り図の
みで、建設費用については一切触れ
られていない。また、菱刈庁舎には
窓口のみ設置、職員配置10人、15人
との構想を菱刈地区住民が受け入れ
るかは不透明。さらに、議会に対す
る情報提供も不十分。加えて、コロ
ナ禍に学び、従来の密集・密接型で
ない、分散型の庁舎建設も検討すべ
き。調査に要する期間は3か月程度
で、急ぐ必要はない。

原案賛成

緒方 重則 議員

新型コロナウイルス感染症対応対
策として、自動検温器・空間除菌脱
臭機の購入や第5分団消防詰所の早
急な移転のための委託料、また新庁
舎建設工事に伴う建物等損傷事前調
査委託費はこれまでも施設の解体や
建設時に前もって行う調査であり必
要であると理解する。

修正案賛成

畑中 香子 議員

新庁舎建設工事に伴う建物等損傷
事前調査委託費540万円を含む。
新庁舎のパー스図が示されたが、面
積・費用など詳細が全く示されない
状況で、補正金額が妥当なものであ
るかどうかの判断は出来ない。

原案賛成

前田 和文 議員

この予算は、建築工事による市民
の生活・財産を守るための事前調査
の必要経費であり、削除すべきでは
ない。

議案第48号 財産の減額及び
無償貸付けについて

反対

柿木原 榮一 議員

貸し付ける財産は、地籍図上は宅
地であり、これは法面を含む全面積
でなければならぬ。残された部分
は管理維持が難しく、議案には貸付
期間も明示されていない。

賛成

緒方 重則 議員

地元産品の売上や焼肉コーナーを
含め業績好調であること、雇用の創
出により地元貢献が多々であること
などの理由により、今後も(株)伊佐牧
場に運営をお願いすることは伊佐市
にとつて有益であると判断する。

議案第50号 令和3年度
一般会計補正予算（第5号）

反対

畑中 香子 議員

食事券について、前回商工会加入
者以外の業者より『不公平である』
との声があった。全ての飲食業者を
対象にするべき。GOTO施策はコロ
ナを上げた側面がある。ワクチン
の見通しがたっていない現状での施
策である。

発議第1号 新庁舎建設に関す
る調査特別委員会の設置につい
て

反対

緒方 重則 議員

当初から、各団体代表による検討
委員会の開催や市民参加のワーク
ショップ等を通して民意を組んだ協
議がなされており、その都度議会に
も報告があった。議会は今後も定例
会を通じて執行部には質問の機会が
与えられており、改めて調査特別委
員会を設置することには反対。

賛成

遠矢 寿子 議員

40億円8000㎡に拘泥する必要
はない。12月以降も議会の度に一般
質問が相次いでいる。市民に説明責
任を果たし、執行部と力を合わせて
後世に喜ばれる庁舎を造るために、
特別委員会を設置し議論を尽くすべ
きだ。

賛成

柿木原 榮一 議員

建設基本計画も目途がつきつつあ
り、市民の関心もある。これまでの
市議会の質問の経過から納得されな
い議員が多数いた。しっかりと議論し
ていく過程で特別委員会の設置を願
いたい。

議決結果一覧表

議案番号	件名	議決結果
39	専決処分の承認を求めることについて	承認
40	専決処分の承認を求めることについて	承認
41	専決処分の承認を求めることについて	承認
42	専決処分の承認を求めることについて	承認
43	令和3年度伊佐市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
44	伊佐市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
45	伊佐市十曾青少年旅行村の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
46	伊佐市公の施設に係る使用料等の減免に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
47	財産の取得について	原案可決
48	財産の減額及び無償貸付けについて	原案可決
49	市道路線の認定について	原案可決
50	令和3年度伊佐市一般会計補正予算（第5号）	原案可決
諮問1	人権擁護委員候補者の推薦について	適任
陳情1	市道曾木の滝土瀬戸線の継続着工と早期竣工及び広域農道（黄金ロード）取付け付近の安全対策について	一部採択 一部不採択
意見書1	地方財政の充実・強化に関する意見書	原案可決
発意2	伊佐市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決
発議1	伊佐市新庁舎建設に関する調査特別委員会の設置について	否決

6月議会での議案等 17 件の中で、賛成と反対に分かれたもの

○は賛成、●は反対

議案番号	議案	議 員														
		村岡 強志	星野 元興	竹原 研二	遠矢 寿子	庵下 信一	武本 進一	岩元 努	今村 謙作	森田 幸一	緒方 重則	前田 和文	久保 教仁	畑中 香子	柿木原 榮一	福本 千枝子
43	令和3年度一般会計補正予算（第4号）の修正案	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	○	●	●	※議長のため賛成・反対には参加しない
	令和3年度一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	
48	財産の減額及び無償貸付けについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
50	令和3年度一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
発議1	新庁舎建設に関する調査特別委員会の設置について	●	○	●	○	●	○	●	●	●	●	●	○	○	●	

市政を問う

14人が一般質問

① 森田幸一		12ページ
② 前田和文	③ 村岡強志	13ページ
④ 福本千枝子	⑤ 緒方重則	14ページ
⑥ 星野元興	⑦ 柿木原榮一	15ページ
⑧ 岩元努	⑨ 庵下信一	16ページ
⑧ 今村謙作	⑨ 遠矢寿子	17ページ
⑩ 武本進一	⑪ 久保教仁	18ページ
⑫ 畑中香子		19ページ

問 ジビエの肉は、脂肪が少なくヘルシーで女性にも人気が高まっている。また、ふるさと納税の返礼品として力を入れる事で、販路が広がり地元品として喜ばれる。市長が前向きに取り組む事が肝

答 農作物、林産物に被害が多い事、ジビエ料理の普及活動は重要であると認識している。猟友会と協議し、この可能性について検討したい。

問 伊佐市で捕獲しているシカ、イノシシは令和2年度3720頭である。菱刈にある施設は、処理能力が40頭で、大口地区の狩猟者は遠くて持ち込めない。大口の中心部に新たにメインの処理施設は出来ないか。



鳥獣処理施設を造れ
市長／猟友会と協議し検討する

森田 幸一 議員

要である。

答 被害の状況、ジビエ料理の可能性、ふるさと納税の返礼品として期待は承知している。地域の為になるものは積極的に検討し導入したい。



菱刈有害鳥獣処理施設

菱刈庁舎の組織形態を示せ

問 市民は、これまでの総合支所方式として存続する事を一番望んでいる。今後、菱刈庁舎をどのような組織形態にするのか、具体的に示せ。

答 新庁舎が完成した後には、市民生活、高齢者福祉、地域振興に関する窓口などの機能を設置する。現在、職員配置は10人、15人程度を想定している。

問 議会は、住民を代表する地方公共団体の意思決定機関で、市長は、議会の議決を経た上で事務を執行することができ、独断専行は許されない。議会の政策決定を経てから市民へ方向性を示すべきではないのか。

答 私が独断で進める事ができないのは十分承知している。実施設計を見据えた段階でない議論は尽くせない。今後とも議会を尊重していく。



曾木の滝周辺整備計画の進捗状況は 市長／県、国との連携しながら 進めている

前田 和文 議員

問 展望台また散策道路計画の現状と展望を示せ。他機関との連携、コロナ収束後を見据えた事業に取組んでいるか伺う。

答 今年度を実施するものが分水路の管理用の道路、新曾木大橋下の乗船場の整備である。県の魅力ある観光地づくり事業で展望台の2か所のうち、1か所整備する。今後取組む事業として、左岸側の展望台を含む景観整備等を県に要望していく。

他機関との信頼性の構築は、現在も最大限の努力をしながら県、国との連携体制の構築を図っている。

コロナ収束後の観光事業、消費活動を見込んだPR活動として地域創生

臨時交付金を活用し、曾木の滝公園と十曾青少年旅行村にハード事業を行う。ソフト事業としては観光パンフレット、電子雑誌・動画等を作製し、福岡市内の駅構内や高速道サービスエリア、空港のロビー等に配備する。



保安林・水資源を守り、市民の生活・農業を守れ

問 伊佐市特有の地形・産業を考慮し、県に対して、再生エネルギー開発業者が申請する保安林解除は慎重さを求める。解除するのであれば、国、県が責任を取る覚悟を持って行い、開発工事等も管理してほしい。崖崩れ、土砂流出等の災害が発生した場合、修復工事を主体的に実施し、地元民の生活・農業基盤を再生するよう求める必要があると考えるが見解を示せ。

答 流末処理や土砂流出等、下流への影響はないか精査し、当然住民に多大な迷惑をかけるような状況であれば市としての対応を考えなければならぬ。

交通形態の維持を！

市長／今後検討していく

村岡 強志 議員

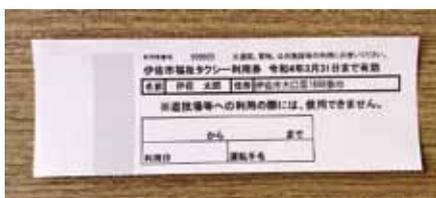


問 タクシー業界の現状であるが、現在、一番の業界問題はタクシードライバーの高齢化と人材不足である。新しいドライ

答 各事業者において求人広告や免許取得等に対する補助などの手当てをしているが応募がない状況であり、高齢化が進んでいる。新規乗務員の確保については、厳しい状況にあるが事業者と意見交換をしながら事業継続のための取組について検討したい。

問 福祉タクシー利用が増えることにより高齢者の交通手段が確保される。また、それに伴うタクシードライバー雇用創出も期待できる。さらにコロナ終息後には、飲食店利用後のタクシー利用も見込まれ、まちの活性化にも寄与できる。よって福祉タクシー利用券24枚を50枚に引き上げることの検討ができないのか。

答 新過疎法による過疎債の活用を含め、市の予算には限度があるため他の施策や事業との調整や重点化など総合的な検討をしなければならぬ。様々な事項を含めて今後検討していきたい。



福祉タクシー利用券
500円×24枚



どうなったか曾木の滝公園 整備は 市長／今年、右岸側の工事を県が行う 福本 千枝子 議員



問 3月議会で曾木の滝公園の展望台建設やもみじや桜の植栽について伺い、県の魅力ある観光地づくりで採択され、設計まで出来ているとの答弁

だったが、その後どうなったのか。対岸の多目的広場はトイレが完備、近くに温泉施設もある。アフターコロナを見据えオートキャンプ場として整備出来ないか。

答 県に問い合わせをし、今年度県予算で「おばあちゃん家」の下に展望台を施工すること。左岸側の展望台、もみじ、桜の植栽も事業採択されており、早期着工を強く要望していく。キャンプ場として営業するには管理や飲み水、排水、炊事棟を含め検討すべき問題がある。

問 自然豊かな曾木の滝公園が変貌している。「おばあちゃん家」の横の駐車場は、観光客が多く駐車場が不足する場合に解放するのではなかったのか。現在は芝も荒れ、西之表市との交流記念に植栽されたもみじも車の重みで弱り、数本は枯れている。また、お店の前のテントや、大音量の音楽が流れ自然とマッチン

グしていない等の苦情を聞くが把握しているか。

答 PR課には苦情等はない。テント等についても占用許可を出しており、店の経営上現状で良いと考える。指摘の駐車場は店の要望もあり、今後樹木を傷つけないよう検討し、音楽については音量を下げるなど願っている。



曾木の滝 展望台予定地

コロナワクチン 接種について

問 独居高齢者や高齢者世帯への対応はどうするのか。

答 家族や介護サービス関係等の協力で予約して貰う。



問 昨年7月4日早朝の集中豪雨により、山野地区において3河川（山野川・羽月川・井立田川）流域の水田を中心に大規模な災害を被った。河川の復旧工事の進捗状況を伺う。

答 まず山野川においては、八幡橋から石井橋上流までの1・4km区間の屈曲補正、八幡橋改修工事及び上村堰のかさ上げ工事を実施予定。災害8件中2件は現在用地交渉中である。井立田川については、水源地上流固定堰から新開橋まで400m区間の屈曲補正及び河積拡大の工事で令和4年3月までにはすべて完成予定である。羽月川については、災害10件すべて令和4年1月までに完成

救済せよ 被災農家を 市長／真剣に検討する

緒方 重則 議員

予定である。

問 昨年は広範囲で被災したため復旧工事が遅れ、水田においても2年連続で作付けできず収入が得られない農家が少なからずいる。市として救済措置の考えはないか伺う。

答 災害復旧の対象となる水田の面積合計27・65haのうち、2・85haは耕作可能である。被災により2年連続で作付けできなかった前例はない。また、過去において農地が被災した農家の方々に對して行った支援の実例もない。ただし、前例がないからといって放置して無関心はあり得ない。作付けできない農家に少しでも寄り添うために真剣に検討していく。

「夢さくら館」の 施設管理について

問 今年9月末日で㈱伊佐牧場との指定管理者契約が終了する。これまでの取組及び今後について市長の考えを伺う。

答 大口育成牧場を含め75人が雇用され、うち、地元雇用者が28人、雇用による伊佐市への移住者は47人。大阪のイオン貝塚店内には伊佐牧場ブランドのセルフ焼肉2号店がオープンしている。本市への貢献は大変大きなものであり、感謝の一言しかない。今後も続けてお願いしたい。



原発事故時の避難計画は万全か

市長／重点区域外で

避難計画はない

星野 元興 議員

問 川内原発で事故が発生した場合、出水市、阿久根市から最大1万2000人が伊佐市へ避難してくる計画となっている。避難時の受入れ態勢は万全か。

答 原子力災害に伴う阿久根市と出水市からの避難者受入れ先の施設及び避難経路を定めている。また、原子力防災訓練実施要綱に基づき訓練を実施した。

問 福島第一原発事故では、福島第一原子力発電所から約40km離れた飯館村は全村避難となった。川内原子力発電所から、約40kmの距離にある伊佐市の避難計画は万全か。

答 原子力災害対策重点区域は、原子力施設から概ね半径30kmを目安と定められている。そのため、避難計画はない。

答 必要性に迫られることもあるだろう。教育委員会と協議しながら検討していく。

制服の自由選択制の導入は

問 LGBTをはじめとする性的マイノリティに配慮した制服の導入が全国的に広まりつつある。伊佐市においても導入すべきではないか、市の見解を伺う。

答 今のところ要望がなく検討していない。

問 今後、ますます議論が深められる課題だと考える。市長の考えを伺う。



木質バイオマス発電の可能性は

市長／前向きに推進したい

柿木原 榮一 議員



問 南九州の各地域で木質バイオマス発電が稼働しているが、伊佐市での事業可能性をどう思うか。

答 山林所有者の山への関心が薄れている。バイオマス発電は木くずや樹皮、間伐材、木製チップを利用した再生エネルギー発電になり木材の調達、輸送コスト等がクリアすれば森林資源保護になるので、前向きに推進したい。

問 事業の要望はあるのか。林業の活性化の方法等はどうなのか。

答 林業事業者から話は聞いているが要望書・計画書等の提出はない。木質バイオマス発電所が建設されれば、間伐材の山林所有者の収入増で森林整備が進み地域活性化・雇用創出等に貢献し、林業が活性化していく。



所有者不明土地問題について

問 所有者不明土地が災害復旧、空き家対策、耕作放棄地対策、固定資産税徴収の足かせになっているが、伊佐市の現状は。

答 令和3年度の固定資産税課税件数が1万7331件で、課税保留が139件であり、所有者不明土地は約0・8%である。

問 問題解消に向けた民法や不動産登記法の改正案が閣議決定したが、担当議員の育成はどうなのか。

答 民法等の一部を改正する法律及び相続等により取得した土地所有権の国庫への帰属に関する法律は、令和3年4月21日成立、同月28日公布で、国県からの連絡・照会企画政策課、実務は各担当課で、情報共有して研鑽し対応する。

伊佐市交通インフラの 充実計画は 市長／新たな地域公共交通計画を策定する 岩元 努 議員



問 加治木工業高校の通学手段として路線バスの運行は。また、高齢者の福祉タクシー利用料の一部助成事業の利用格差の改善及び、曾木の滝への

バス停設置について見解を伺う。

答 現状において、公共交通の維持については、利用者の減少等により厳しい状況にあり、栗野駅線、吉松駅線についても国県の補助金を使い運行されている。臨時バスやバスの増便、運行時刻変更等については難しいと考えるが、市民の使いやすい運行に関して、事業者と連携を図っていく。タクシー助成事業については、令和5年度末に地域公共交通総合連携計画を見直す予定があり、買い物支援、市街地と郊外の距離の問題など、総合的な見地から今後検討していく。

問 ゴミの分別が徹底されていないことが、収集業者、コミュニティや自治会役員の負担になっている。ゴミ分別の周知徹底、リサイクルの検討など内容を示せ。

答 ゴミ分別について毎年度チラシを作成し、市内全世帯へ配布して周知を行っている。分別に迷うゴミについては、問い合わせにて対応している。食品ロス削減と、ゴミの減量化の取り組みとして、3010運動の実践、3R運動の推進として、広報紙、ホームページ等で情報配信を行う。使用済み紙おむつについては、志布志市の実証実験の動向を見ていく。

ごみ分別の徹底について

【その他の質問】
災害時の高齢者、要支援者の避難方法は災害時の早急な復旧工事への対応は



菱刈庁舎の業務内容と 新庁舎の概要は！ 市長／配置職員は10人〜15人程度を想定 庵下 信一 議員

問 3月定例会で約束された「5月の基本設計の完成をもって明らかにする」と答弁された5月が過ぎた。菱刈庁舎の業務内容（組織・機能）と新庁舎の概要・事業費の内容について伺う。

答 基本計画は5月末で完成の予定であったが、新型コロナウイルス感染症の関係でワークシヨップが開催できなかった事などから、6月末迄に完成の予定を進めている。

問 菱刈庁舎の業務内容については、市民生活など窓口業務に関する機能を配置する。職員配置は10人〜15人程度を想定している。大口・菱刈庁舎で同じサービスを受けられるようにする。

菱刈庁舎は総合支所と

しては考えていない。

答 令和2年度に予定されていたイベントなどが、新型コロナウイルス感染症の影響により延期されたことから、DMO観光推進事業の実績報告がなされていない現段階において、効果検証を行うことができなかった。今年9月に予定している「伊佐市総合振興計画審議会」において効果検証を行い、ホームページで公表する。

第一期伊佐市創生
総合戦略の成果は

問 人口減少が進む中、地域経済の発展や定住化の促進に向けて策定された第一期「伊佐市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の、交流人口や定住人口の増加等の5点の成果指標として示された平成31年度末における実績





新型コロナウイルス感染症対応策は 市長／前向きに検討する 今村 謙作 議員

問 新型コロナウイルス感染症の影響で市内の飲食店・宿泊業・タクシー業者・代行業者等の経営は非常に危機的な状況にある。今後、支援対策の考えはないか。

答 新型コロナウイルス感染症対策は、市民の皆様が感染対策を実践していただくことが重要である。また、感染対策に特段の対応が必要な医療機関、介護関連施設、障がい者福祉施設等の従事者の皆様におかれては、日常生活はもちろん業務においても、多くのストレスを感じながら頑張っている。改めて敬意を表するところである。そのような医療機関をはじめとする関連施設に対して、何らかの支援

ができないか、検討を始めたところである。

また、市としても、飲食店・宿泊業等、苦しい思いをされていることは重々承知している。そして、飲食店等の皆様が努力されているからこそ感染状況は収まっているということも認めなければならぬ。今は本当に苦しい状況であることは本当に申し訳なく思っている。今後の支援については、ワクチン接種の状況を見ながら、実施時期、実施内容について、効果が出るような支援策を検討していく。

【その他の質問】
コロナワクチンについて

がで



まちを分断する新庁舎構想

市長／窓口サービスは向上させる

遠矢 寿子 議員



問 広報いさ6月号と同時に配布された新庁舎のお知らせには費用の説明がないが。

答 7月の市民説明会でその時点の積算状況をお知らせする。

問 菱刈庁舎には現在128人の職員が勤務しているが、今後は何課が入り、何人勤務する予定か。

答 具体的な業務内容は今後詰める。大口・菱刈両庁舎で同じ手続き、全ての手続きができるようにする。業務内容が未定のため職員数ははっきり言えないが、専門職10人、15人程度を想定している。

問 庁舎の名称は支所か、出張所か、窓口か。

答 大口庁舎、菱刈庁舎の名でやっていることと思っている。

問 菱刈図書館を現在の菱刈庁舎内に移設する構想を持っているか。

答 私は持っている。

問 職員10人、15人で行政サービスが維持できるか。単なる努力目標に過ぎず、不公平ではないか。

答 窓口サービスは向上させる。本当にできると思っている、決意を持っている。

問 大口にすべての課を置いて、菱刈には窓口のみ。なぜまちを分断するような構想をするのか。

答 職員の人数が多いから菱刈の人が幸せという意味が分からない。一か所にまとめた方が安定した行政運営ができるという信念の下でやっている。

【その他の質問】

伊佐市男女共同参画基本計画について「生理の貧困」と学校トイレの生理用品設置について

子どもたちが受験する各種検定料の補助について生命に関わる行政サービスの外国語対応について

問 自治体の庁舎は究極的には誰のために存在するのか、職員か、市民か。

答 市民のための施設と思っている。

地域猫の取組の推進を

市長／地域の理解と普及に努力する

武本 進一 議員



問 猫好きな方もそうでない方も、地域住民の理解や合意を得て野良猫を減らしていく取組として、TNRというものがある。TNRのTは猫の捕獲で、

Nは不妊・去勢手術、Rは元の場所に戻すということである。このTNRは地域猫活動の根幹をなすもので、飼い主のいない猫の苦情や殺処分を減らす取組となる。そしていくつかTNRの助成事業を行なっている団体等がある。以上の観点からTNRの推進について本市の見解を伺う。

答 今年度から、鹿児島県が避妊・去勢手術費用の助成事業を実施しているが、対象は地域猫活動を行う団体（伊佐市は対象とする団体はない）となっており、個人は対象となっていない。他に公益財団法人どうぶつ基金という団体がある。行政枠の他に団体枠、一般枠があり、問い合わせがあれば動物基金の案内を行う。また、ふるさと納税の動物愛護枠（ふるさとチョイスのサイト等）があるが、一つの案として今後、検討していく。

問 地域猫活動を後押しするための取り組みとし

て何が必要と考えるか。また、地域猫についての啓発と周知をお願い出来ないか。

答 大事なことは地域住民の理解が得られやすい適切な餌やり、排泄処理などの環境づくりと、避妊・去勢手術費用など財政的な支援が必要だと考えている。また、地域猫問題のことを共有するうえで広報紙やホームページで啓発、周知を行ってきたいと考えている。



農家所得の安定を 市長／里芋を重点野菜に追加

久保 教仁 議員

問 里芋の品種は。また、品種により、kg単価・生産資材・農家所得など違うと思う。これらを試算されているか。

答 品種はセレベス（赤芽）と白芽里芋の2種類を選定している。10a当たりは、赤芽が350円/kg、白芽は200円/kg。生産資材・農薬・肥料費等を差し引いた10a当たりの所得は、セレベスが27万4600円・白芽が16万8250円としている。

問 今年度から、里芋を重点野菜として認定されたと聞く。これまでの5品目、カボチャ・トマト・レイシ・根深ネギ・水田ごぼうに、里芋を加えて6品目となるが、里芋も『水田活用の直接支払い交付金』の産地交付金の対象作物として取り扱われるのか伺う。

さといも試算表（セレベス）水田 単位：税抜

単 位	(新規) (2年目)		項 目	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
	10 a	10 a					
生 産 量	1,300	1,500					
単 価	350	350					
金 額	455,000	525,000					
種 苗 費	60,000		種子代 (kg)	200	300	60,000	
肥 料 費	41,250	41,250	堆肥 (t)	3	2,700	8,100	
			BB222	6	3,300	19,800	
			セルカ (粉)	10	690	6,900	
			粒状BMヨーリン	1	2,050	2,050	
			NK化成2号	1	1,760	1,760	
			エスカル	2	1,320	2,640	
農 薬 費	21,560	21,560	バダンSG水溶剤	1	730	730	
			トップジンM水和剤	1	2,530	2,530	
			オンコル粒剤	1	3,340	3,340	
			ジーファイン水和剤	2	1,960	3,920	
			アミスター20フロアブル	1	3,560	3,560	
			フレバノンフロアブル	1	3,800	3,800	
			トレボン乳剤	1	3,680	3,680	
諸 材 料	12,840	12,840	黒マルチ	3	4,280	12,840	0.03×135×200
流 通 経 費	92,690	106,950	市販手数料	455,000	8.5%	38,675	
			農産手数料	455,000	1.3%	5,915	
			農協手数料	455,000	2.0%	9,100	
			利用料	1,300	3	3,900	
			販売促進費	1,300	2	2,600	
			出荷運賃	1,300	25	32,500	
資 材 代	16,200	18,960	SKDB	260	60.00	15,600	
			クラフトテープ	5	120.00	600	
経 営 費	184,540	201,560					
農 業 所 得	270,460	323,440					

資料提供：JA北さつま



新庁舎と大規模改修で

50億以上か

市長／設計が出来ていないため
不明である

畑中 香子 議員

問 庁舎部分は5300㎡程度とのことだが、ふれあいセンターの共通利用スペースの面積、費用は。庁舎と一体的に建設するのか。

答 設計が出来上がっていない段階で数字を示すことは不誠実である。共通利用スペースは庁舎と一体的に建設する。

問 判断をするべき市民に規模も費用も示さずに進めることのほうが不誠実だ。公共建築物管理計画で新庁舎に40億円、ふれあいセンターの改修費として8億8000万円、現庁舎解体費に1億500万円としてある。資材も高騰しているが、合計50億円以上かかるのではないか。

答 新庁舎建設とふれあいセンターの改修費は別と考えてほしい。ふれあいセンターの改修費は新庁舎建設を踏まえた数字ではない。庁舎と共用部分については実施設計を踏まえたくうえで再度算出する。

問 単なる不具合の改修ではなく、大規模に造り変える話だ。アトリウムを会議室になど大規模な改修をする必要はない。

答 新庁舎建設の計画が持ち上がっており、費用面積の圧縮をおこない、ふれあいセンターの利用価値を高めるなど総合的に考えている。

問 ふれあいセンターの耐用年数は50年で現在29年経過しており、健全度は65点。一方、牛尾小の健全度は22点で令和6年度に部分改修の計画である。ふれあいセンターを先に大規模改修する理由は。

答 ふれあいセンターはアスベストが発見されている。危険度の高いものを放置しておくことは出来ない。エスカレーター



ふれあいセンターアトリウム

全国市議会議長会より 感謝状を贈呈されました



緒方 重則 議員



森山 良和 議員

全国市議会議長会評議員として、会務運営の重責にあたり使命達成に尽くされた功績への感謝状

飲食店経営者さんからご意見を伺いました

新型コロナウイルス感染症における 伊佐市飲食店の現状とこの1年半の歩み

新型コロナウイルス感染症の流行により、私たち伊佐市の飲食店やホテル旅館にも直接的な影響が及び、大変な打撃を受けたこの1年であります。休業や時間短縮をしても、本来かかる経費はコロナ前とあまり変わらない業態が飲食店です。突然の思わぬハプニングで売上や収入がなくなり、1年間耐え忍んできました。この状況が伊佐市の飲食店においても非常に長く続いており、先が見通せない状況です。

そうした中、市民の方々や行政からの多大なるご支援と助成をいただき、勇気づけていただきました。心より感謝申し上げます。

前回の支援に対し効果の検証として、アンケート形式で「生の声」をまとめ、市長、担当課へ意見を届けました。



鹿児島県社交飲食業生活衛生同業組合
伊佐支部長 古澤 博文

令和3年

第3回定例会のお知らせ

○定例会は午前10時開会です。

8月

30日(月)	本会議(招集日)
--------	----------

9月

2日(木)	本会議(2日目)一般質問
6日(月)	本会議(3日目)一般質問
7日(火)	本会議(4日目)一般質問
9日(木)	本会議(5日目)総括質疑
10日(金)	文教厚生・総務産業委員会
14日(火)	一般会計予算決算委員会
22日(水)	本会議(6日目)
28日(火)	総務産業・文教厚生委員会(決算)
30日(木)	一般会計予算決算委員会(決算)

10月

1日(金)	一般会計予算決算委員会(決算)
4日(月)	一般会計予算決算委員会(決算)
11日(月)	本会議(最終日)

※日程は変更になることがあります。
詳しくは議会事務局(☎23-1335)にお問い合わせください。

お知らせ

- ◎ 「議員との意見交換会について」新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から今年度は中止とさせていただきます。
- ◎ 議会傍聴につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、議会ライブ中継などを視聴していただきます様、御配慮をお願い致します。

市民の皆様の御理解とご協力をお願いいたします。

議会を自宅等のインターネットでも視聴できます。
(市議会の生中継や録画を映像配信しています)

【伊佐市ホームページ】
↓
【行政・議会】
↓
【議会】
↓
【議会インターネット中継】

大口庁舎、菱刈庁舎、ふれあいセンター、まごし館では議会ライブ中継をご覧になれます。



たくさんのご応募ありがとうございました



応募総数…40通(うち正解者33通)

第50号クイズ正解は・・・

- 第1問 正解・・・A 16人
- 第2問 正解・・・C 3人
- 第3問 正解・・・A 森山議員
- 第4問 正解・・・B 163億
- 第5問 正解・・・B 11人

「伊佐市議会だより」で、議会のさまざまな情報をお伝えしています。

編集・発行責任者

議長 森山 良和

議会広報等特別委員会

委員長 岩元 努

副委員長 星野 元興

委員 村岡 強志 武本 進一

畑中 香子 竹原 研二



※編集後記※

新型コロナウイルスワクチン接種も進み、一安心という方も多いのではないのでしょうか。6月定例会においても新型コロナウイルス関連予算が審議されました。その中で、飲食業を中心とした商工業への支援策として「プレミアム付き商品券・食事券」の発行が可決されました。是非、ご活用ください。

新型コロナウイルス感染拡大を通じて、私たちの生活は大きく変わりました。多くの人を集めたイベントの自粛、大切な人との会食の自粛、オンライン会議の普及など「人のつながりが重要視されない」そんな時代にシフトしたのかもしれない。

そうした状況においても、議会だよりを通じ多くの方に議会の様子をお伝えできればと考えます。コロナ収束後には、是非、傍聴にいらして議論の場に立ち会ってみてください。議員の人となりを感じられると思いますよ。

副委員長 星野元興